

旅行AGの皆様へ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より福島県会津美里町観光振興につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、御社にて、平成21年度に「会津」への旅行ツアー及び「大内宿」への旅行ツアー等を計画されるにあたりましては、是非、磐越自動車新鶴スマートICを利用したツアー催行をご検討下さいませようお願い申し上げます。

敬具

「大内宿」へお越しいただく際には、下図の『Aルート』ですと、大内宿周辺の渋滞を回避することで、行程どおりの旅行催行が可能となります。

Aルートの説明（磐越自動車道新鶴スマートIC から 大内宿まで）

県道72号線から県道131号線（大内宿こぶしライン） 約30km / 45分

Bルート及び国道121号線を利用しての大内宿へのアクセスは、かなりの渋滞が発生します。



会津美里町インフォメーションセンター周辺には、74名対応の地産地消農家レストランと、大型観光駐車場がございます。

お問合せ先

福島県会津美里町字瀬戸町甲 3161-1 番地

会津美里町観光協会 電話：0242-56-4882

HP：<http://aizu-misato.jp/kanko/>（各種パンフレットダウンロード可）

会津本郷焼

会津本郷焼は、四百年の伝統を誇る東北最古の焼物です。起こりは、文禄二年(1593)に城主蒲生氏郷が会津領主となってからで、若松城の大改修を行うにあたって、城郭の屋根を瓦葺きとするため播磨国(兵庫県)から瓦工を招き、黒瓦を製造したのが始まりとされています。

各窯元では、てびねり・絵付け・ロク口等の焼物体験が楽しめるほか、窯元巡りや窯元 café が味わえます。
関連アドレス：<http://aizu-misato.jp/kanko/tmp/pdf/pamph/hongoumap.pdf>

仏都会津美里町

《法用寺》



養老二年(720)創建と伝えらる天台宗の古刹。境内には会津五桜の一つ、虎の尾桜や貴重な遺構として残る三重塔のほか、国重要文化財の木造金剛力士像が奉られています。この力士像は、ケヤキの一本造りの平安期作で、口を開いているのが「阿像」、閉じているのが「吽像」、一対で左右対称のポーズをとり、仏敵に目を光らせている。

《中田観音》



高さ2m弱の銅像の尊像は、奈良・長谷寺の十一面観音を模したといわれる優美な姿で、脇侍として左に不動尊、右には地藏尊と全国的に珍しい配置となっており、鎌倉時代の鑄作として、国重要文化財に指定されています。弘安寺(中田観音)は、「会津ころり三観音」のひとつで、野口英世博士の母・シカが篤く信仰を寄せたことでも知られる。

《龍興寺》



天台宗の第三祖慈覚大師円仁大僧正が、嘉祥元年(848)に開山した道樹

山龍興寺は、蓮寺としても知られている。国宝一字蓮台法華経にあやかり、写経会が7月に催される。徳川三代将軍に仕えた天海大僧正の生誕地でもあり、伊達政宗より天海大僧正に送られた古文書が所蔵されている。

《向羽黒山城跡》



葦名盛氏が1561年から1568年までの8年間を費やし、戦用城として築いています。

葦名盛氏以降、伊達政宗、蒲生氏郷、上杉景勝も改修を重ねた山城です。特に、上杉景勝時代は、慶長三年、越後から若松城に入り、向羽黒山城を大幅に手を加え、1600年の徳川家康の会津征伐時では、最後の砦で迎え撃つ最終的な拠点として考えられていました。

窯の美里 いわたて(食事処)

- 1階 会津本郷焼直売所
- 2階 地産地消農家レストラン 74席
- 大型駐車場完備 普通車40台
- 大型車 3台

〒965-6042

福島県会津美里町字瀬戸町甲3162 0242-56-5181



【会津地鶏と新鶴人参のサムゲタン】 【鯨の山椒漬】